

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	公共システム維持事業	コード	担当課	企画課 情報政策班
		01-01-17-04	担当者	谷本 隆二
事業実施期間	S61～			
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	情報通信		
	施策	公共システムなどの安全性の確保		
電話	64-1812			

事業について	各種アプリケーションの稼働維持、セキュリティ対策、インターネット・メール環境維持など (備前市情報ネットワークのソフト面)
目的	各種アプリケーションの稼働維持、セキュリティ対策、インターネット・メール環境維持など (備前市情報ネットワークのソフト面)
対象 (誰のために)	市民、児童・生徒(狭義には市役所、学校等のため)
内容	基幹業務系アプリケーション(50)、情報系アプリケーション(11)、セキュリティ対策など多岐に渡る

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
情報ネットワーク保守委託			
電算業務保守委託			
地籍等システム保守委託			
システムリース(4種)			
電算事務機器等借上料			

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	194,854	国庫補助金等		直接事業費	国庫補助金等		
	人件費	7,230	受益者負担		人件費	受益者負担		
	合計	202,084	市債	202,084	合計	0	市債	0

必要人員	0.90	人
結果指標名	ウィルス感染など	
結果指標量	トラブル0件	
単位		
対前年比	-	
事業費	円	円
単位当たりコスト①	円	円

結果指標名	アプリケーション異常停止	
結果指標量	トラブル2件	
単位		
対前年比	-	
事業費	円	円
単位当たりコスト②	円	円

事業の成果	安定稼働(トラブル発生回数) 3回	式又は説明	合併時のイレギュラーデータに起因するアプリケーションの一時停止2回、対象件数過多によるオンライン処理ダウン1回(現課でのパッチ処理については除く)
成果指標名	17年度	到達目標年度	
成果指標量			
対前年比	-		
到達目標値			

事務事業の評価	課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	各種システムは、行政運営のためには欠かせない基盤である。
市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	
コストの効率化	
手段の最適化	保守経費については、合併前の1市2町の合計額よりコスト削減をしている。(但し、事業費にはシステム構築費を含んでいる)
職場の効率化	
目的達成度	
成果向上の可能性	アプリケーションの異常停止はあったが、行政運営に支障をきたすようなトラブルは発生していない。
市民参画度	

総合評価	評価区分 <A~E>
コメント	A
市及び学校の運営のためには欠かせない基盤である。	

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	対象件数が過多になるオンライン処理は地区や年度分割できるように現課を指導	H17.6	トラブルの未然防止
効率性	上記処理ロジックに警告メッセージ等を出すようシステム会社に標準システムの改造要望	未定	現課処理時のトラブル回避率アップ

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。